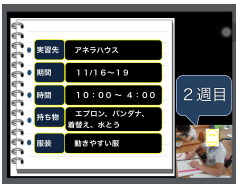


教材・支援機器活用実践事例フォーマット（特別支援学校版）

*この資料は、Webで公開することを前提にしています。生徒の個人情報公開の確認を取るか、個人が特定できないように作成するか、注意してください。

	実践年度	平成27年度
参加する授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 算数/数学 ☐ 理科 ☐ 生活 ☐ 音楽 ☐ 図画工作/美術 ☐ 家庭/技術・家庭 ☐ 体育/保健体育 ☐ 道徳 ☐ 外国語/外国語活動 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ 特別活動 ☐ 自立活動 ☐ 各教科等を合わせた指導 ☐ その他の教科 ☐ その他()
	単元・題材名	メモを取る力をつけよう
	授業の目標	①メモを取ることに関心を持ち、良いメモの取り方について考える。 ②短い言葉や記号を用いてメモを取ることができる。 ③大事なことを落とさずに目的や場に応じたメモを取ることができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	☐ 「知識・理解」 ☒ 「技能」 ☒ 「思考・判断・表現」 ☒ 「関心・意欲・態度」 ☐ その他()
	自立活動の要素	☐ 「健康の保持」 ☐ 「心理的な安定」 ☒ 「人間関係の形成」 ☐ 「環境の把握」 ☐ 「身体の動き」 ☒ 「コミュニケーション」
学習(集団)の実態	学部・学年・人数	☐ 通常の学級 ☐ 通級による指導 ☐ 特別支援学級 ☒ 特別支援学校 ☐ 就学前 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☒ 高校生以降 ☐ 特定されない
	対象の障害	☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☒ 知的障害 ☒ 肢体不自由 ☐ 病弱・身体虚弱 ☐ 言語障害 ☐ 自閉症 ☐ 情緒障害 ☐ LD(学習障害) ☐ ADHD(注意欠陥/多動性障害) ☐ その他
子どもの実態	子どもの課題(特性・ニーズ)	☒ 聞く ☒ 読む ☐ 見る ☐ 話す ☒ 書く ☐ 運動と姿勢 ☐ 計算する ☐ 推論する ☐ 日常生活活動 ☐ 社会性・コミュニケーション ☐ 不注意 ☐ 多動性・衝動性 ☐ 覚える・理解する ☐ 時間的・空間的・人的交流の制約 ☐ その他 対象生徒たちは、メモを取る経験が少ない。そのため、どのようにメモを取れば良いか分からない、丁寧に字を書くことを意識するあまり、一部の情報しかメモすることができないなどの課題がある。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称 (使用した支援機器・教材の名称を記載。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	iPad (カメラ機能、Keynote)
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(☐ A1意思伝達支援 ☐ A2遠隔コミュニケーション支援)B活動支援(☐ B1情報入手支援 ☐ B2機器操作支援 ☐ B3時間支援)C学習支援(☐ C1教科学習支援 ☐ C2認知発達支援 ☐ C3社会生活支援) 聞き取りのみでは情報を取得することが難しい生徒のため、iPadのカメラ機能やKeynoteを用いて視覚支援を行い、教師の説明やメモする内容を視覚でも確認できるようにする。
	活用方法	①Keynoteを用いて、メモする情報をテレビに映し出し、視覚支援を行う。 ②授業中に生徒が書き取ったメモをiPadのカメラで撮り、他の生徒たちと共有し、良かったところや反省点を話し合う。 ③次時の授業で、前時で生徒が書いたメモをテレビに映し出し、どのような点に注意してメモを取るか、生徒それぞれの課題や目標を確認する。
効果・評価	ICTを活用した授業での子どもの様子や変容および授業の評価	生徒が授業で書いたメモをiPadで写真を撮り、それをテレビに映し出し、他の生徒と共有することで、客観的な視点で自分のメモを確認することができた。また、改善点などを視覚で分かりやすく伝えることで、本時の目標を意識し、授業に集中して取り組むようになった。
資料	図・写真・表等はこちらへ貼り付けてください。 (生徒の写真は個人情報公開の確認を取っているものとする。)	活用方法①  活用方法③ 